落日のパトス
ヤングチャンピオン
コミックス
YC
COMICS
8
Rakujitsu
no
PATHOS
Presented by
Tsuyatsuya
艶々

RAKUJITSU-NO-PATHOS

落日のパトス

8

Presented by
Tsuyatsuya

ヤングチャンピオン
コミックス
YC COMICS

RAKUJITSU-NO-PATHOS

落日のパトス 8

CONTENTS

［初出］
別冊ヤングチャンピオン
2019年3月号～9月号

RAKUJITSU-NO-
PATHOS

アキくんは…

わたしが

［ここまでの「落日のパトス」は］

漫画家を目指す青年・藤原の住む部屋の隣室にかつての恩師・仲井間が引っ越してきた。同じアパートの〝隣人〟として交流を始めた二人…。

デートで酔いつぶれた藤原は気がつくとラブホテルの中で下着姿のまさみと二人きりに。彼女に誘われるがまま、唇を重ねようとする藤原…。だが酒の飲み過ぎによって、行為は失敗に終わる。藤原とまさみのデートを知り心中穏やかでない仲井間も結局朝帰りになった藤原を問い詰める過程で唇を重ねようとしてしまう。互いの関係性に悩む二人。さらに藤原の「非童貞」宣言にモヤモヤは深くなるばかり…。

互いが互いのことを妄想し、溜まり続ける二人のフラストレーション。夫とのセックスレスも重なった仲井間は再び空き部屋に立ち入り、激しくその身を慰める。そこに偶然現れた藤原。下半身を晒したままの仲井間は藤原を背後から抱きしめ…!?

【人物紹介】

藤原 秋
Aki Fujiwara

漫画家の青年。仲井間にかつて犯した行為を後ろめたく感じていた。普段は物静かな性格だが、性的な好奇心は人一倍旺盛。

仲井間 真
Makoto Nakaima

旧姓：祐生。藤原の高校時代の恩師。現在は結婚し、退職。夫の仕事の都合で藤原の住む町に引っ越してきた。年の差婚で、男性経験は夫ひとりだけ。最近、夜の夫婦生活に物足りなさを感じている。

神保 まさみ
Masami Jinbo

藤原が大学時代に所属していたサークルの後輩。現在は藤原の仕事を手伝うアシスタント。垢抜けない感じの少女だが、胸が大きくスタイルは良い。藤原のことを狙っている。

高杉 ミツアキ
Mitsuaki Takasugi

藤原のもとで働く新人アシスタント。３次元の女性には全く興味のない童貞。要領が悪く不器用。神出鬼没で突然現れることが多い。

RAKUJITSU-NO-
PATHOS

第52話
パンツを脱いでナニしてたんですか？

そいじゃ ちょっと コンビニ 行ってくるけど
なんか ほしいもの あるー？
あ！ じゃあ 甘いものを なにか…
同じくっスー
できれば 今オマケが エバンガリオン のアレが ついてる…
うっせえ
ドスッ
うっ
じゃあ 甘いものねー
いってきまーす
はあ…
そば うどん

進捗は
まあまあ…か
ミツアキくんも だいぶ
慣れてきたし…
とはいえ…
今日でもう一週間…
いや8日かな？
なんか原稿とは
別に…
疲れる…な
…このまま
また…
あの仕事場に
戻るのか…
イヤじゃない…
イヤじゃない
けど…
——あ…

そうだ
この2階の
あの部屋……

また不法侵入だけど…
せめてちょっとだけ息抜きを…
ガチャ
ここで先生と…
ドサッ

フフ…先生とムチャクチャしたなあ…
もう遠い昔のようだけど
まだあれが数か月前か…

あのときのセンセイのカオ
エロかった…

あ———…
でもやっと一人だァ…
やっぱたまにはこうして一人になりたいよなァ…

ビクッ

おわ

アキくん
後ろ見ちゃだめだよ…
えっ？
だっていま私
下穿いてないから
ええッ!?
なっ…なんで…
そんな…状態に……
……
うん…
何をしてるんだろうと
私も…そう思う…

だって…アキくんたち…
なんか…楽しそうで…さ

う…うるさかったですか？
すいませんっ…
そんなのいいけどー

そうじゃなくて…
なんか…こう…さ
そっちと反比例して
こっちは…寂しくなるというか…

………

でも…先生ダンナさんいるじゃないですか…
出張中だよ…
…そうですか

それに…
いたとしても
……
なんか…
最近は…さ
すっかり…
!!!
ア・ッ・チ・も
ないし…
そういえば
ここ
しばらく
あ・の・声・…
きいてない！
でも
だから
…かな

こうして…ここに…
この部屋に入ったら…
いろいろ思い出しちゃって…
ちょっと…ムラっと
あ…
あーあー
それは…
ハハ
すごく…
わかります…!
僕だって…
今…すごく…

――あっ…
ビクッ

は
――ほんとだ…
――はっ
ギュ
ッ
はっ

はっ
先生…
もっと…
つよく…
は
あっ

あ…っ
あ
ビク
ビク
うあ
直…は
ガク
ガク
ガク
うはっ
あ…っ
ここ…
アキくん
かっ…
カチカチ…
う
グリ
わ

だめだめ
だめ
ビクッ
ビクッ
だめだめだめっ
そこカリ…
ビクッ
ビクッ
ビクッ
あ――…
ぞく
あ…
アキくんの
声…っ
ぞくぞく
ぞく
んっ
は
ぷる
ぷる
ぞくぞく
ぞくぞく
もじ…
はっ
はっ

ひあ
うわ
先生の…おしり
はじめて触った…
こっ…こんなに
ぎゅう
広いんだ…
あ…
ひっ…
ひろ…

広いって
…なに
よぉう
おわ
あ
ほら…っ
アッ…
アキくんだって
…こんな
あ
だめ
ぼく…
いつから
先生と
僕は

あ
は
はっ
はっ
まるであたり前のように
あっ
ひい

あっ
はっ
あ
あ
こんなことが
できるように
なったんだろう

あっ
ど
あ
あ
あ
あ
ひ
――ていうか
くっ

は
なにしてんだ
こんなところで
僕らは
は
はっ
はっ

アキくんがはじめてエッチしたときって
どんなふうだったの？
え…っ
どっどんな…って
な…なんで
だって…気になるんだもん
ねぇ
聞かせてよ
アキくんの童貞
なくしたときのおはなし

RAKUJITSU-NO-
PATHOS

RAKUJITSU-NO-
PATHOS

第53話
何がそんなに
嬉しいんですか？

うう…
パンツが気持ち悪い…
はぁ…
ポイッ
ゴソ

ジャー
戻ったらシャワー浴びよう…
バタン
あ
水流れたんだ
ああ そういえば元栓開けっ放しなんですかね
スカート穿いちゃったのか…
これティッシュありがとうございました
あ うん
で

初体験はどうだったのよ？
え〜〜〜〜〜〜
やっぱり話すんスか…

そんな…面白い話じゃないですよ…
いやむしろつまらない…
いいから
……

んっと…あれは大学の3年のとき…かな
僕寮住まいだったんですけど…
同級生と相部屋で…

カズヒデってヤツだったんスけど…
ほら大丈夫だから！
オレがちゃーんといい店連れてってやるし！
いやでも…まだ心の準備もできてない…
それにオレこういうトコ…
あんまり…
バカおまえ21才でまだ童貞とか
笑われっぞ！
でもお金だってそんなに…
貸してやるから心配すんなって！
いやそーゆーことじゃ…
カズヒデってのがとにかく強引で
……
オレがいきつけのいい店あるから！
やさしーくしてくれっから！

ソープ…
いやっ
そのカズヒデが
とにかく
手っ取り早いのが
それだっていうし…

決して
僕が行きたい
って言ったわけじゃ
ないですし！
ハイハイ
ハイハイ

それで？
それで…
お店に入って…

あれって…
フシギなんですよ
………
フシギ？
その…女の人の…
写真みてね…
コレだな！ って
選んでね…

いざ…
実際に
個室に入って
会ってみると…

なんか
違うんですよ…

でもね…
終わってから

改めて
指名した人の
写真とか
見てみたら…

やっぱり
その人
なんですよ!!

イッツァ
マジック!!

あー

ふーん

どうでもいーわ

…えっと
なんていうか…
一言で
いうなら…
おばちゃん…？

お…おば
…でも
そのおばちゃん
……と…
アキくんは…
その……
でき…
るの？

それが…
全然…と
思ってたのに
……

ふふふ…
あんな
おばちゃんの
ゆるい身体
でも…
ハダカに
なると
フフ…
フフフ

これが…フシギなんですよね…

フフ…フフフ

わあ――イッツァマジック――

棒

ま…そんな感じで

僕は童貞を捨てたというか

まあ…そんな感じなので大きな声ではいえないというか

待って待って

どんな……って
まずはコンドームをつけてもらってから……
ほう
コンドーム
そんで初めてならその…好きな感じでいいよってっ
いうから……
ほう
好きな感じ
だから…
普通に寝てもらってそこに…
普通に
寝て

ははっでも
恥ずかしながら
いやあー
あっというまに
果てて
おわっちゃって!!

だから言いたく
なかったん
ですよねー…
そんな
恥ずか
はーっ
どれ
くらい
えっ
どれくらいで
果てたの?

いやあ
だから…
その入れて
すぐ…

どれ
くらい?
ズイ
どれくらい
入れたの?
どれくらい
……って
ビクッ

こう…
ぐいっ…と

奥まで⁉
いや…その奥まで…
…では
なかった…
かな…と

半分？
半分…より
もう…
すこし手前…で

カリ？
い…え
…ええと
もう…その
さきっちょが
ふれた
しゅんかん…
か…な…

なあんだ じゃあ アキくん
それ まだ
ドーテー じゃーん!!

ぼろっ
う…
ぼろ
ぼろっ
うううぅ

うわぁああああっ
ちがう
ちがうもん
ちゃんとあの
おばちゃんの中で
僕は…
僕はッ
うぅぅ…だって
あんなマンガ
描いてるくせに…っ
どっ童貞
……って
ヨ
ヨ
ヨ
ヨ…
……
グスッ…
そうか…
やっぱり…
僕は…
ポム
!

大丈夫だよ
アキくんが童貞でも
私全然大丈夫だからね

なぜ…こんな突然慈母のような笑みを？
そしていったい…
なにが大丈夫なのか…

ガチャ

キィ
大丈夫です
誰も
いません

それじゃ
原稿
頑張ってね
あ　はい
誰かと
出くわすと
いけないいから
私
後から
帰るよ…
ふぁ

へくち

先生も
早く戻った
方がいいですよ
・・・・・・
あんなカッコで
いたんだから…
冷えてるし…

へへ…
うっさい
じゃね

ただいまー

あっセンパイ
遅かったですね
うん
コンビニで
チャンピョン
全部
立ち読み
しちゃった
おかえり
なさいッスー
はいこれー
いやー
そしたら
眠気が
きちゃって
ちょっと
シャワー
浴びてくるよ

あーなんか
目赤いですし
それが
いいですよー
うっ
うん!
ギクッ
っス!
バタン
シャー
はー…
ザァ
いろいろ…
ムチャしてるな
…僕…

…よく洗っとかないと…ココ…
ザー
わしわしわし
ザザ
それにしてもなんで先生…
僕のどう…
…ほぼ童貞ってのを知った瞬間…
あんな優しい顔に…
直前まで阿修羅のようだったのに…

私は大丈夫…って
いったい…
……
ギャ
!
まさか…
あれはつまり…
私は…〝アキくんが童貞でもOKよ〟ってこと…?
ほらアキくん

私が
はじめてを
奪ってあげるから
――って
そういう…っ
まさかっ
じゃあさっき…っ
ぎゅっ
あっ…
ビクッ
ガクッ
お
おあ
ビクッ…
ガクッ
ガクッ

……
もっかい
よく洗わなきゃ
す
す
す
………
──ふふ
へへっ
先生の
おしり…
おおきくて…
やわらか
かったなァ…
見たかった
なァ…

RAKUJITSU-NO-
PATHOS

4コマのパトス

写真見て選んだら
おばちゃんだった
まりでーす♡
イッツアママジック

でも裸になると
反応しちゃう
イッツアママジック

ソープ嬢と寝たのに
何故かまだ童貞
イッツアママジック

マサミちゃんのプリクラ
イッツアママジッ
センパイ

第54話

弱ってる私に萌えてるの？

連続で出張になっちゃったけど今回は2泊だから
うん
帰ってくるまでにちゃんと治しときなさい
この忙しいときに風邪うつされてもたまらんからな
ハーイ
ケホ
じゃあ行ってくる
いってらっしゃい
ガシャン
はぁ…
ケホ
ケホ

なんていうかな…
こう…言い方？

言ってることはもっともなんだけどさー
ゴホ
カチャ
カチャ

なんていうのか…
ゴホ
もう少し思いやりというか…
優しさというか…
ケホ

ふぅ
ゴホ
おわったおわった
ケホ
コホ

クラッ
お？

あ…
やばい…
ケホ
ケホッ
ほんと熱でてきたのかな…

まあ家事もおわったし…
少し寝ようかな…
パサ
ゴホッ
ゴホン
ケホケホ

センセー
この背景でいーっスかー？
……
アキくんとこか…
いや
ちがうってば
バカね
あんた

アキくんとこは…にぎやかね…
あーでもそれでいいがっスよね？
なにあたしになに
楽しそう…だな
……
さーさー
でもあともう少しだから～
スゥ…
ブロロロ…
カタンカタン
キャハハ
きゃもまって～
あははは
チリンチリーン
ガゴッ
ゴン
コンコンッ
…ん…？
玄関で…なにか…
フラッ
ゴホッ
ゴホッ
あーノド渇く…
キィ
誰もいない…
ガサ
あ？
カタ

コーラと
からあげサン…？
からあげサンは
さすがに…
この体調では
ちょっと…
でも
だれが…
あ

ひょっとして
…アキくん…？
フフッ
キラ
私が
咳してるのが
聞こえて…？

とはいえ…
からあげサンの
チョイスが
アキくんとは
違う気も…
レギュラーか…
アキくんは
変な味が好みな
気がする…

パキ
まあでも
なんにせよ
ノド渇いてたから

たすかる…
ゴキュ
ん
ぶはっ
炭酸が効く…っ
はっ
ゴキュ

ん…
宅配かな……?
ピンポーン
悪いけどダルいからバックレて…
ピンポーン
ピンポピンポピンポン
ピンポピンポーン
……
あーもーー!
ハイハイハイだれ!!
ガチャッ
先生!
大丈夫ですか!?
アキくん…?
ヨ

いや…ミツアキくんが隣の部屋から咳が聞こえるっていうし気になってて
ケホケホ
ミツ…ああ あの子

顔が赤い…
ひょっとして熱が…
スッ
あ ほら
ぴと
ドキン
熱い！

アキくんの手が…
もおー！
だめですよ！なんでそんな格好で外出てきてるんですか!!
そんな薄着で！
…おい…

そうか さっき仕事 終わったんだ
ええ それで 先生のコト 聞いて
解散して 慌てて 来たんです

そっか ありがと…
いえ…

……
──なに？

いや… ココで先生… 寝てるんだなァ ……って
あ… そっか
こっち入るの はじめて だっけ…

ダ…っ
旦那さんと ここで…一緒に…

あんな…っ
上に乗って
激しく
腰を振って
……ッ!!
はぁ
はぁ

人んちの
寝室で勝手に
夜の営み回想とか
どんなプレイよ

あの…おなか減ってませんか……？
よければおかゆくらい作りましょうか…？
え
そんなのできるの…？

ええほんとそれくらいなら
なかなか食欲もないでしょうし……
ああ…せっかく貰ったけど
からあげサンはちょっと食べられなかったしな

からあげサン？
あれ？コーラとそれ…アキくんじゃなくて？
あー…

ミツアキくんですねきっと…
あー…

じゃあ寝っててくださいできたらまた声かけますね
台所お借りします

ずっと
ナベは…
お冷があるから
おじやにしようかな
カチャ
ああ…
アキくんも
仕事がおわった
ばかりなのに…
私のために
…こんな…
そう…
ダンナさんに
ここまで
してとは
言わないけど…
すこし…
優しい
言葉をかけて
くれたら…

私が寝てて

台所から
あたたかい
音が聞こえて

先生…
起きてます？

あ
うん

できたの？

ムク

ははっ
なんとか

あ　おじやだ
ええ
冷やごはん あったんで それ使っちゃい ました
うん いいよ いいよー
カチャ
じゃあ――
――はい
あーん
――!

あーーん
ドキッ
……
ん
ぱくっ
ゴッ

うん
おいしいよ
あは
アキくん

よかった
うん意外
アキくんこんなの作れるんだ

もっと
あー
わー嬉しいですねーなんか
なに言ってんのこっちのセリフよー
モム
モム

それにしてもこうして先生がベッドにいて
僕が横にいて……って

なんか
はじめて
先生と
近い距離に
なった…

あの
保健室
思い出しますね

近い…って
さわってた
やん

ん…でも
そうか

ある意味
…あのときのことがあったから…
たべたらあっー
アキくんと…今こんなに…
先生…
先生
あの
え
ドキ
ズイ
なに？アキくん
こんな顔近づけて…
あのっ…
やだ…今心が弱ってるから…なんか言われたら…
私…

そのっ
からだっ汗かいてるし……ッ
ふっ拭きませんか……!?
てっ…手伝いますしッ
はぁ
はぁ
はぁ

――でも…
アキくん
仕事が終わった
ばかりなのに…
私のために
駆けつけて
くれたんだよね…
あ
ダメ？
ダメかな
そりゃ
そうかな
って
だったら…
だったら
ぴくっ
ちょうど
今
ブラもして
ないし

ブラ…
して…
えっ
アキくん
からだ
拭いてくれる
……?

RAKUJITSU-NO-
PATHOS

RAKUJITSU-NO-
PATHOS

55
僕の手で感じちゃったんですか？

あ タオル そこに…
うん それね
じゃあーー
ゴクリ

……

あっ そう
そうだっ
ちょっと…えっとえっと
?
はい これ
へ?
つけて!

アイマスクで
目隠ししてっ
え〜〜〜〜〜〜

……
でも先生が
つけてた
アイマスク
なら…
あ それ
ダンナさんの
うへェ…

大丈夫ですよ
こんなもの
しなくても！
見ません
から！
え——

ほんとにぃ……？
ホントホント！ホントに！
横にまわりこんで見るのもダメだよ…？
背中だけね？いい？
ギクッ
だっだいじょうぶっ
オッパイ触っちゃダメよ？
めっそうもないっ
ハハッハハハッ
じゃあ――……

お…
お願いします…

こ…こんな力かげんでいいです…か？
うん…

うん
きもちいいよ
アキくん
ギュ
ゆさ

おー
おおッ
ギュッ…
ムネが
ギュギュッ
たゆん
僕の動きにあわせて先生の
ヨコチチが
はぁ
ゆれている
はぁ

うわあ…
水着のオッパイとは
また違う
ざわ
ざわ
ざわ
この
ナマ感…！
自由に
動くこの
重量感……!!
ギン
ゴク
これを今
動かして
いるのは
僕のちから…ッ
ゆら
ゆら
スススー
ビクッ

アキくん…！
前は…
いやっ
おなか！
おなか
ですッ!!
ちゃんと
拭かないと
カゼ
治りません
…からっ
おなかまでは
…僕がっ…
ねっ？
ほんとに
……
おなか
だけ…よっ
……ほ

あっ…
は…
ズレ

乗った

ちょ…アキくん
オッパイダメって…
ちがっ…これは…おなかを拭いてたら
しかたなく…っ

そんな…にムリヤリ上に…しちゃ
う…
あ
えっ
えっと
そっか
片方だとアレだし
こっちの手で
手汗よ
アレ…ってなに？
アレは…
その
えっと
えっとアレを
こっちもちゃんと汗を拭かなきゃだから…

もちあげて
下側を…
グイ
ギュリッ
……っ

はああああんっ♥
!!
ひあっ
!?

い……っ
今の…
え…
声…って
……
その
は…っ
はぁ
あ…
はっ
あっ…
あえ…
あえぎごえ
はぁ

さわるのはなしって…
ゆうたやろおッ
ア――

僕の…手によって
ドクン
ドクン
ドクン
先生が

あんなに
かわいい…声出すんだ…
先生ッ…

なにイイ顔してゆってんのよ

バターン

うあっ

ゴロッ

ゴロー

いたっ

あー ホラホラ 元気になった 元気になった

帰った帰った!

………

まあ でも…

おじゃ…おいしかったよ

…ありがとね

バタン
ふふっ
へら
うふふふ…
また…
パンツの中が
きもちわるい…
最近は
先生と会うと
こんな
ことになって
ばっかりな
気がする…

この前はお尻で
ギシッ
今日はオッパイで
ギッ
おかげで
ギッ
オカズに困らない
せっ…せんせの声
俺の手であんな声…
ギッ
といろかありすぎて困ってる
ギッ
あっ
あ
おっ
ギッ
うお
ギッ
お
ああ…仕事しなきゃいけないのに
う
しなきゃいけないのに……
うっ
あっ

RAKUJITSU-NO-
PATHOS

RAKUJITSU-NO-
PATHOS

第56話
こんなところから覗いていたの？

まぁでも…
おじや美味しかったよ
…ありがとね
バタン…

はー…

アキくんて…
ちょっと
バカっぽいわりに
……
ときどき
なんつーか
言葉が
ピンポイントで
攻めてくるのよね
……
あんな甘い…
かわいい声
出すんですね
「甘い」とか

あんなコトバ
よく出てくるなァ
……
やっぱり
その辺
マンガ家の
語彙力と
いうやつなのか
……
耻ずかしいったら
ない…
……てか

アキくん…めっちゃ乳首
ぎゅってするんだもんな
そりゃー
…甘い声も出るっつーの…

だいたい…寝室入っただけで
旦那さんとここで…一緒に…
あんな…っ上に乗って激しく腰を振って…ッ!!
よくあれだけの妄想を…
まったく…
……
…ん?
あんな…っ上に乗って激しく腰を振って…ッ!!
……
あんな上に乗って激しく腰を振って
…
「あんな」…?

……
あんなって
〝想像〟じゃ
ない…
思い出してる
……？

――ってことは
見た…
ってこと…？

でも私
腰なんて
……

あ…

たしかに…
私いつも
上になってる
から…
腰…を…

うそ…
アキくん
じゃあ…
私の…それ…
見た…の…?
でも…
そんなこと
…どうやって
まさか
隠しカメラ
とか
ハッ
ひょっとして
…!

……
ガラッ
ここか!!

…たしかにいつもここでアキくんと
お互いにカオ出して話してる…

そりゃー…
………

カーテンも閉めずにしてたら…
見える…よ…ね…

いやいや
ちがう！
見ない！
普通の人は
そんなこと
しない！

のぞき
行為よ!?
これ！
軽犯罪法
違反よ!?
こんなこと
して…

はっ
あっ
はっ
おっ
ギッ
ギッ
ギッ
おおっ

はあ
あ
僕の
僕の手で
あんなっ
ギッ
ギッ
ギッ
うっ
ギッ
ギッ
はっ
まるで僕と…
僕と
セックスしてるみたいな声…っ
ギッ
ギッ
ギッ

ああっ
は
はっ
うお
オ
ナニー
男の子のオナニーって
は…はじめてみた…っ
しかも…私を…
私をオカズにしてる…？

はっ
はっ
ギッ
ギッ
ギッ
ギッ
ギッ
あ
あ
ギッ
うわぁ…
右手
あんなにギュって…
それに

遠いけど…
アキくんの
お…
お…チ…
チ…ン
はじめてちゃんと
見た…
フッ
あんな…
フー
ふ
ふっ
あんなに
充血して…
はっ
フー
血管も…

すごいバッキバキ…
フーーッ
フッ
ハッ
非常の際は を破って
隣戸へ避難して下さい。
下さい。

あ…あぁ
おっ
うあ
ギッ
せ…んせっ
ギッ
アキくん
ギッ
もう
ジュチッ
ふひ
イキそう
…!?
チュッ
ギッ
うおて
イ…くっ
イクの?
イクの!?
はっ
はっ
う…
わたしを
頭の中で
犯して
イッちゃう
の…!?
はっ

あッ
……
あっ
あんな風に
出…ッ
おあ

ギギギ
え
え!?
は!?

せっ…
先生!?
あ…
はっ
はは
えっと
ちがうの…
これは…

先生
まさか
今…
僕の…
…を…
見て…
やっ
そんなっ
いやっ

…その…
………

ちょっと…だけ

ちょ…
やめて下さいよ…っ
なんで…
うわ―――
ごっごめ…

いや
待って

アキくんだって!!
私のダンナさんとの・・・
覗いてたでしょ!!
あ・・・
えっ なんで・・・それを
・・・・・・!!
!!

やっぱり！
ひどい…
アキくん…

のぞき
なんてっ…
さいっ…て
——……
……
……

まぁ…魔がさす時って…あるよね
え…ええ…
ほんとに…
でも…僕は…
まだ…見られたのが先生でよかったです
だって…僕の…そういうトコは…
たぶん先生が一番知ってるし…

ん…
うん…
あと…
最近はもう先生のところから…
…そういう声も聞こえないですし…

……
えっ
えっ⁉
なに？
なにか僕マズイこと言いました⁉

ううん…いいの…
いいのよ
え？え？
レス問題もだけど
その頻度を知られてるってどうなの…
ルルルル
あ
電話…

はい
もしもし
あー
まさみちゃん
ピク
どうしたの？
――え？
えっ
これから
アシスタント
もう
来られない
……？
78

RAKUJITSU-NO-
PATHOS

4コマのパトス

第57話
まさかアイツが来るんですか？
今回出番ナシ

おつかれさま――
おつかれさまでーす

今回は長くかかってごめんねー
いえいえー
背景も多かったし
そもそも増ページでしたしね
仕方ないですよ!

まだ明るいけど
疲れてるから気をつけてね
乗りすごしとかもね
あはは そうですねっ

ミツアキッ
あんたも
早く
帰んなさいよ！
なにゲームやってんだよ…
センパイも
疲れてん
だからっ
ビクッ…
ハ…
ハイッス
それじゃー
また
連絡しますねー
おつかれさまー
とはいえ
今回は
ほんと
長かった…
着替えも
最後の一日分が
足りなくて
着っぱなし
だし…
ガタンッ
はぁ…
とりあえず
家戻ったら
ゆっくりと…

はぁぁあぁぁ…♡

はあ――……
おフロ さいこ――ぅ
チャプ…

このワンルームにしては広いおフロが
ここに決め手になったのよねェ〜〜〜
ザバ…

それにしても今回長いことセンパイといたわりには…
チャポン
あんまし触れ合い…みたいのなかったなー

ま ミツアキが いたせい …ってのも あるけど
つーか 仕事中の スマホもう 取り上げるか あの野郎…
みてみて ほら
超レア 出たっス まだ2ヵ月なのに
おー
それよりも なんだろうな ——…
センパイが いつにも 増して
こう… なんていうか
チャプ
オトコ感が ない…?
いや… というより
チャプ
昂って なかった… …というか
チャポ
ただ ただ サワヤカで
センパイ 特有の…
エロ男子の 感じが 少なかった…

……
なにかな…
おフロとかで
オナニーして
抜いてたとか
……？
チャプ…
あッ
やだ
なに
考えてるの
私
センパイの
そんな姿
想像しちゃ
うふ
うふふふふ
ふふふ……
すわって
するのかしら…
……
おフロで…
……か…
そうよね
前に…
あのとき…
私…

センパイの間近で見ちゃったし…！

あのときの

私…

自分でヤバイ思って
そこでやめたけど
チャプ
今…思ったら
なんであそこでやめたとかいな…
あのさきいっとったら…
チャポ…
いまごろ…全然違った関係に…
ん…っ…なっとったんやろかね…
チャプ…
んっ
コポ

こげんして
おフロ一緒に
入っちゃったり……して…
チャプ…
チャプ…
んっ
きゅっ…
んふっ…
チャプンッ…

センパイ ほんと
オッパイ 好きやし
絶対 触って くるし…
チャプッ
チャパ
こげんして …下から
あは
毎日
ぎゅっ
毎日 いっしょに
おフロ 入って…
はっ
ゴポン
こげんなこと してそうっ
あ

あっ…ぜったい そんで きっと
私…も センパイも
は
あっ
はっ

ぜったい
ロクに
マンガ
描かんで…
はっ
エッチ
ばっか
しよるし…ッ
ガバッ

…ばってん
…それはそれで楽しいかなァ…
マンガ家なんてやめて…
チャポ・
…そういうふたりで楽しく…
ふふっ
デデンデンデデン♪
ターミネーターのテーマ
デデンデンデデン♪
!
電話？誰ね？
デデンデンデデン♪
こんなタイミングで…

デン
デデン
担当さん
くわっ
担当さんっ
はいっ
もしもしっ
神保です
おつかれ
さまですっ
ザザザ
ガバッ
いえっ
全然！
バババ
大丈夫
ですから！
えっと
ネームの
お返事
ですよね
え!?

あのネームを
連載に…ですか？

いや実は連載のワクが諸事情で急に空いちゃってね
もちろん他の先生の案も出たんだけど
かなり急でみんないい返事もらえなくて
あの…いつからですか？
来月のアタマからで隔週連載
来月…
あと2週間…

きみのネームはそのまま連載でもいけるネタだし
なによりこれはチャンスだと思うんだよね
グッ
──どう？
もちろん
やります！

——はい！
じゃあ早速明日
伺いますね
——はい！
はい！
がんばります！
では
失礼しまーす！
トッ
は——……
ストン…
……
ついさっき…
マンガなんて
描かないで…
センパイと……
なんて言ってたのに
フフ

ふふ
ふふふ
ふふふふっ

あっ
そうだ！
センパイに
このこと
言わなきゃ
──…って
はくしゅっ
…先に
服着よっ…

えー
という
わけで──

まさみちゃんは今回からしばらくおやすみになります

すみません〜〜〜〜

まあでもプロ目指す以上

ありうる事態だし

ていうか連載決まるなんてめでたいことなんだから！

グフッ
せんぱいが もう… ここに… いないなんて
グフフ
さみしくて たまんないっ …グフッ
グフフフフッ
ぎゅっっっっ
ほう…
その こぼれ出る 笑みが全てを 物語っておるなッ

てか あんた わかってんの!?
私がいない ってことは
私の やってた分 全てあんたの ノルマなのよ!?

!!
ガーン!
仕事量は単純に 2倍以上に なんのよ!?
ガガーン!!

ううう…
センパイ…
やめないで…
僕だけじゃ
ムリっスぅう…
なに今さら
泣きよーと
ね!!
ヨヨヨ…
いやー実際
まさみちゃん
抜けたら
キツいよ
ミツアキくん
だけじゃー
さすがにね
だから
ちょっと僕も
まさみちゃんから
連絡もらったあと
ちゃんと
考えました！
えーと
そろそろ
来るかな

あ
誰か助っ人さんですか!?
そうー
役に立つかどうかビミョーだけど

まさみちゃんも知ってる人だよ
え!? 私も!?
大学の寮で僕と同室だった――
ピンポーン
あ
きたきた!
ガタ

えっ…それって…
はーい
パタ
パタ

それってまさか
あの…

あー 2人とも紹介するねー

今度から
うちを
しばらく
手伝ってもらう
こんにちはー
末岡カズヒデでーす
よろしくねーん!!
やっぱり…
"一休"…!!

RAKUJITSU-NO-
PATHOS

4コマのパトス

コーラと
からあげサン…?

第58話
ホントにそんな
チャラ男だったの？
PATHOS

カズヒデは
僕の大学時代の
寮のルームメイト
でね――
漫研にも
出入り
してたんだ
はぁ…
まあ
一応
だから
まさみちゃん
知ってるよね
よーく
知ってん
じゃーん！
ハハッ
ハハハ
一応って
なんだよ

じゃあ
カズヒデには
まさみちゃんの
席つかって
もらってー
えーーー
おー
アキの隣か
汚さないで
くださいよっ
オレきれい好き
だから
大丈夫だよー
その軽口が
信用できない
……
あれ…？
まさみちゃんて
カズヒデと
仲悪い…？
というか
キライ…
……？
ま
まー
まー
とりあえず
しばらくは
この体制で
いくから
じゃあ私
帰りますねー
あっ
うん
ありがとね
引継ぎだけに
きてくれて…

じゃあ
まさみちゃんも
頑張ってね

掲載号
全部買うし
読むからね！
ありがとう
ございます！
頑張り
ます！

……
あの
いっきゅ…
末岡さん…
問題あったら
すぐ言って
下さいね

あの…
まさみちゃん
って
カズヒデ…
苦手
だったりとか
するのかな…？
あー
苦手って
いうか
キライです
……ッ
そっか…
センパイは
知らないん
ですよね…

知らない…って何が…
あら！
えっと…
こんにちは
あ…先生…！
あー こんにちは
買い物ですか
ええ
……
そっか…このひともいるんだ…
へ？
なあに？
ん－…
？
なに？

まいっか！
？

とりあえず…あのチャラ男は
気をつけたほうがいいですよ！
センパイとお隣さん！

それじゃー失礼しまーす！
あ…はーい！

どゆこと…？ていうか
何の話？
いや…その
うちに新しいアシさん来てるんですけど
その話かな──…と

新しい…
男？
女？
あっえっと
男
男です！
おとこ…

そっか
じゃあいいや
んじゃまたね！
……
はい…また…
なにが…〝じゃあいい〟んだろう…

カリ
カリ
カリ
チラ
そーそー
そこ押して
あとはミツアキちゃんの好きな女子さがしてー
こっこの子いいっスね！
おーじゃあそれいっとけいっとけ
返事来たらどうするっス？
だーいじょーぶオレが教えてあげるよ
マジっスか大丈夫っスか

なにしてるの…？
いやーこヅアキちゃんがよ 女の子は絶対2次元だっつーから
それなら3次元と比べなきゃってんで
アプリ使って女の子との出会いをな
Tenderってんだ
出会い系アプリ
なにその イヤミ理論
うわっ 返事来た！来たっス！
……
おどれどれ
あーこりゃ怪しいな
アヤシイ？
たまーにヤリモクに見せかけて美人局みたいなのが…
マジっスか
ほら ゲームうまいだろ
仕事して!!
ビクッ
ほい
え
ペラ

うお…もう背景の下書きが…!
へへへーやるこたァーやってるぜ
グッ

相変わらず器用だよなーカズヒデ…
まあね
器用さだけで生きてっからなオレ

ほんと…これだけできるなら…
なんだって仕事できるだろうに…
…今仕事は…?
フリーさ!
フリーターか…
住まいどうしてんの?
常に女3人は確保してるからなー
……ヒモかよ
カリ
カリ
カリ
カリ
カリ

ところでさ
お前――……
昔
まさみちゃんと
なんか
あったの？
あ？
あー
カリ
うーん
あったといえば
あったし…
特に…って
いえば
特にな－
カリ
カリ
カリ

男と女が
いれば
起こる問題さ
男と…って
カリ
カリ
カリ
え？
なに？
そんな!?
そーゆー
アレ!?

え？なに？
アキ
お前
まさみちゃんと
…コレか？
ババババ
バカいうなっ
彼女はただの
アシで…
おわー
この子イイー
イイっス…
コスプレ
してる
っス
ミツアキくん
仕事して〜〜〜
なんだよ
お前まさみちゃんと
なんなんだよ
仕事
してェェェ

ピロピロピロ
ありがとうございました
うーん
カズヒデのチャラいの変わってないな……
ミツアキくんに間違いなく悪影響を与えてる気が…
まさみちゃんの言ってたのはこういうコトなのかな……
アイツのチャラさはぜったい悪影響だしますから！思い直すなら今ですよ！
ていうかまさみちゃん
よくカズヒデのそんなとこまで知ってるなア…

ほんと…
まさみちゃんと
カズヒデ
なにが
あったんだろう
……
気にならない
といえば
ウソになる
ガチャ
ギィィィィ…
先生…!?
キィ…
とっ…
なんです!?
アキくんとこ…
男の子
ばっかしって
言ってたよね…?

そうですけど……？
でもさー

さっきから…女の子の声が聞こえてるんだけど…
ほんとにいない？

だーって男3人でずっと仕事してて
女の子なんて…

うわー マジでゲンコーだー
すっげー プロのゲンコー
キレイー
……
だろー ホントだったろー
ぼっ…僕も手伝ってるっスよ
だれ…!?
おー おかえりー
おかえりなさいっスー
あ おじゃましてまっス
先生っスかー!

さっき
tenderで
(出会い系アプリ)
知り合ってさー
マンガ好きってっから呼んだんだ
すぐ近くにいてさー
こんにちはー!
センセーのゲンコーすげーです!
エリかんどーー!
勝手に呼ばないでくれる…!?
まーまー潤い潤い
僕のアプリから見つけたっスよ!
ミツアキくん当面仕事場でスマホ禁止ね!
あれっ
あのー…
すいませんせっかく来てもらったけど…
仕事中ですし…

あーでも
エリマンガ
好きだしー
いやっ
ちょ
パンツ
見えてるし
オッパイも
そんなに…
なんだよ
見るトコ
見てん
じゃーん
見えちゃう
んだよっ
ゴッ
ゴッ
うお
なに!?
…!!
あ！じゃあ
エリも
お手伝い
しよっかー？
お
マジ？
やって
みる!?
あー
もー
カオスだ…

……ッ

えっ
うそ
やだぁ

集中線も
カケアミも
……
けっこう
ちゃんと
描けてる
……!!
ホントだ
……
ミツアキ
ちゃんより
上手い!
エヘヘー

高校で
漫研
入っててー
いろいろ
マネごとして
描いてたからー
すげえなー
じゃっ…じゃあ
他の原稿も
頼もうかな
……
遅れてるし…

た…頼めるかな?
わーやりたいっス――!
ありがと――!
あ……あの先生僕は…
いいねェー
あ
ミツアキくんはけしゴムかけてて
あとフロ掃除とか…なんかしててねー
……

女…ッ帰れっス…!
うわーなにこの子うざーい
キモーイ
そこ…僕の机…ッ
あーミツアキちゃんそれだめー
なにがあっても女の子には優しくー
う
うっ

じゃーありがとねー
スンマセンっスお金まで!
いえいえたすかったよー
んじゃーまったねー

フフ…フフフッ
僕の机ッ
はー人って見かけによらない…
ていうか…
じゃーそろそろダンナに怒られるんで帰るっスねー
あれで既婚者…なのか…
すごいななんか…!
ダンナがいるのに出会い系アプリ…!
そして朝帰り…!
倫理とは…!
そんな彼女は
それなのに出会い系で来ちゃう軽さ…

やがてまさみちゃんの仕事場でチーフアシになるのだが
単行本第2巻大好評発売中!
じんぼまさみ
それはまた別のお話

──あれ？
そういや
カズヒデは
どこ行ったの？
あ
タバコ
吸いに
ベランダッス
あ──
──ん？
誰かと
話してる
…？
──って
あそこで
話す相手
なんて…！

!
やっぱり
先生…!!
楽しそうに…
なに話してんだ…?

あ…
終わった
カラ
カラ
カラ
カズヒデ・・
なに話してたん…?
うおっ
ぬっ
なによー
お前
トナリに
あんないい女
いるなんてさー
色々
話しちゃった
いい…
女…
思わず
メシとか
誘っちゃったよ!
この仕事
終わったら
どうですって
えっ・・・
あ…
そう
いや
でも…!

そんな初対面のオトコに先生は…
で…
で…!?
で？
ああ
もちろんOKもらったぜ
ウソ…
うそ先生…
うそ!?
さー頑張って終わらせようぜー
あー楽しみ楽しみー♪

『落日のパトス』第⑧巻／完

RAKUJITSU-NO-
PATHOS

4コマのパトス

ちゃんと描けてる…
ホントだ
エヘヘ～

高校で漫研入っててー
いろいろマネごととして描いてたから～

そのまま友達とコミケ？ってゆーの出たりー
壁サーク？とかになっちゃったりー

したぐらいで～
よくわかんないけど…
すげえな！
僕より上手いのでは…？
神絵師だ…

あとがき
落日のパトス
8巻になりました！
ここまで続けることができてうれしいかぎりです…！
そしてココへきて
新キャラも出てきました。
これからどうなるやら…
次巻以降も
御期待下さい！
2019.9.25

RAKUJITSU-NO-PATHOS
次巻予告
なあんだじゃあ
オレが誘ってもなにも問題ないな!
生粋のチャラ男、カズヒデに誘い出された仲井間!
そこはホレ押せばいいんだよ
下着だけになってたんですよ
このハナシ聞くの
追い打ちをかけるように明かされる
…まさみとカズヒデの過去──。
けっこうつらい…!
……
僕と食事行くときとか
あんなカッコ
ぱたん
禁断の隣人愛欲物語。

■ヤングチャンピオン・コミックス■

落日(らくじつ)のパトス⑧

2019年12月1日　初版発行

著　者　艶々(つやつや)

発行者　石井健太朗

発行所　株式会社 秋田書店

〒102-8101　東京都千代田区飯田橋2-10-8
☎編集(03)3265-7362　販売(03)3264-7248
製作(03)3265-7373
振替口座　00130-0-99353

印刷所　誠宏印刷株式会社

Printed in Japan

ISBN978-4-253-14078-2

デジタル版　2019年発行
製作所　デジタルカタパルト株式会社
http://www.digital-catapult.com